

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	リノベーションデザイン	担当教員	今田太郎・柴田良一・中谷岳史	
学年学科	2 年次 建設工学専攻	前期	選択	2 単位
学習・教育目標	(D-3 環境系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)	
授業の目標と期待される効果： 我が国の建築の状況は、スクラップアンドビルド型からサステイナブル型に変化しつつあり、建築物の再生（リノベーション）が求められている。 本授業では、計画、環境、構造といった様々な視点からリノベーションのデザイン手法や考え方について学ぶ。そのことによって、建設技術者が持続可能な社会における役割を理解し、建設技術者として必要な社会的視野を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。 ①リノベーションに関わる諸問題を把握できる。 ②リノベーションを実践するための考え方を理解する。 ③リノベーションデザインを学生の視点から実際に提案する		成績評価の方法： 各課題 100 点とし、総得点に占める得点率で評価を行う。 達成度評価の基準： 下記の 3 つとする ①リノベーションに関わる基本的諸問題を把握できた。 ②リノベーションを実践するための基本的な考え方を修得できた。 ③リノベーションデザインについて現実に即した提案ができた。		
授業の進め方とアドバイス：講義と合わせて現場調査など学外学習を導入する為、夏休み等を利用した集中講義の形態を取る事がある。授業形態は、主担当教員が構成する授業に、適宜、他郷員が参加するスポットライト方式とし、今田が 10 回担当し、柴田、中谷が各 2.25 回担当する。柴田、中谷は演習の適切な段階において、授業に参加し、アドバイスをを行う。				
教科書および参考書： なし				
授業の概要と予定：前期		教室外学修		AL のレベル
第 1 回：授業の概要説明、リノベーションデザインの枠組み（今田担当）		以下、作業日誌をつけること。		
第 2 回：リノベーションにおける建築プログラムの転換と空間、構造、設備計画（今田・柴田・中谷担当）		リノベーションの対象に関する基本事項（建物の履歴、平立断面、構造形態、設備など）および、敷地周辺状況、立地地域の文脈、仮想ユーザー・クライアントについて把握した情報を整理する。		A
第 3 回：リノベーションにおける設備系の課題と解決方法（中谷担当）		実際のリノベーションにおける設備系の計画事例を収集し、情報を整理する。		A
第 4 回：リノベーションにおける構造的諸課題と解決方法（柴田担当）		実際のリノベーションの計画事例を収集し、構造の視点から、計画のあり方を整理する。		
第 5 回：現地調査の方法：可能性、課題抽出の方法および調査結果の分析の手法（今田担当）		調査分析資料（マッピング、グラフ、ダイアグラム）の作成方法のまとめ		A
第 6 回：調査分析資料に基づいた、調査分析に関するプレゼンテーションの構成検討（今田担当）		調査分析資料に基づいた、調査分析に関するプレゼンテーション方法のまとめ		A
第 7 回：リノベーション計画における計画ワークショップの手法 1（今田担当）		ワークショップの技法（ブレインストーミング、KJ 法）について理解を深める。		A
第 8 回：リノベーション計画における計画ワークショップの手法 2（今田担当）		リノベーション計画作成の為のワークショップの技法についての整理、まとめ		A
第 9 回：リノベーション計画における調査・分析演習 1（今田担当）		データの収集・整理および分析		A
第 10 回：計画に関連する主体とのワークショップに関する演習（今田担当）		ワークショップによるデータの整理・分析、およびコンセプト作成		A
第 11 回：計画案におけるプログラム、設備計画、構造計画の統合に関する講義（柴田・中谷担当）		基本計画案の作成作業		A
第 12 回：計画案を基にしたデザインワークショップ演習（At サテライトスタジオ）（今田担当）		デザインワークショップの結果の計画案への反映作業。		A
第 13 回：専門教員によるアドバイス・意見交換 3（At サテライトスタジオ）（柴田・中谷担当）		企画プレゼンテーションの準備。		A
第 14 回：リノベーション案作成ワークショップ（At サテライトスタジオ）（今田担当）		企画プレゼンテーションの準備。		A
第 15 回：講評会（現地で実施。仮想ユーザー・地域住民）（今田担当）				A

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	リノベーションに関わる基本的諸問題を把握を（8割以上）計画に反映できる	リノベーションに関わる基本的諸問題を把握をほぼ的確（6割以上）に計画に反映できる	リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を計画に反映できない。
②	リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を（8割以上）計画に反映できる。	リノベーションを実践するための基本的な考え方をほぼ的確（6割以上）に計画に反映できる。	リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を計画に反映できない。
③	リノベーションデザインについて現実に即した提案が（8割以上）できる。	リノベーションデザインについて現実に即したほぼ的確な提案（6割以上）ができる。	リノベーションデザインについて現実に即した提案ができない。